



ATMEA1 安全設計レビューについて契約締結 フランス原子力安全機関（ASN）と

三菱重工業とフランス AREVA の合弁会社である ATMEA 社は、同社が開発した第 3 世代プラスの原子炉「ATMEA1」の基本設計に対し、フランスの安全規制・基準への適合性評価を受けるため、フランスの原子力安全機関（ASN）と契約に調印した。

最終報告書は 2011 年秋までに発行される見通しで、ATMEA 社はこの評価結果を潜在顧客と当該国の規制当局に提供していく。

今回の契約は、ATMEA1 の基本設計作業が 2009 年末までに完了したのを受けたもの。ATMEA1 の安全規制・基準への適合性評価は、フランスの原子力安全行政を支える放射線防護・原子力安全研究所（IRSN）の協力の下、原子力安全規制を担う ASN によって進められる。

ATMEA 社のステファン・フォン・シャイド社長兼 CEO（最高経営責任者）は「世界的に有名な安全審査機関である ASN および IRSN が、ATMEA1 の安全機能に対し設計評価作業を行うことは、私たちにとって ATMEA1 の安全規制への適合性を立証する非常に重要なステップとなるだろう。ATMEA1 は基本設計を順調に完了させており、ATMEA 社はすでに顧客から公式な引き合いがあれば対応できる状況にある」と述べた。

ATMEA1 は、三菱重工と AREVA が 2006 年 10 月に協業合意して以来開発を進めてきた、出力 110 万 kW の第 3 世代プラスの PWR。従来の PWR に比べ、高い熱効率と稼働率を実現して経済性が高い。また、シビアアクシデントや航空機衝突防護などに対する最高レベルの安全性を有し、MOX（ウラン・プルトニウム混合酸化物）燃料のフル装荷もできるなど、多様な顧客ニーズに対応する。2008 年 7 月には、国際原子力機関（IAEA）による概念設計の安全性能審査を完了している。

ATMEA 社は、ATMEA1 の開発・販売を目的として、2007 年 11 月に三菱重工と AREVA の合弁により設立された。本社をパリに置き、世界の中型原子炉市場で主導的なポジションを確立することを目指す。

ATMEA ホームページ：<http://www.atmea-sas.com>
三菱重工 ホームページ：<http://www.mhi.co.jp>
AREVA ホームページ：<http://www.areva.com>

以 上